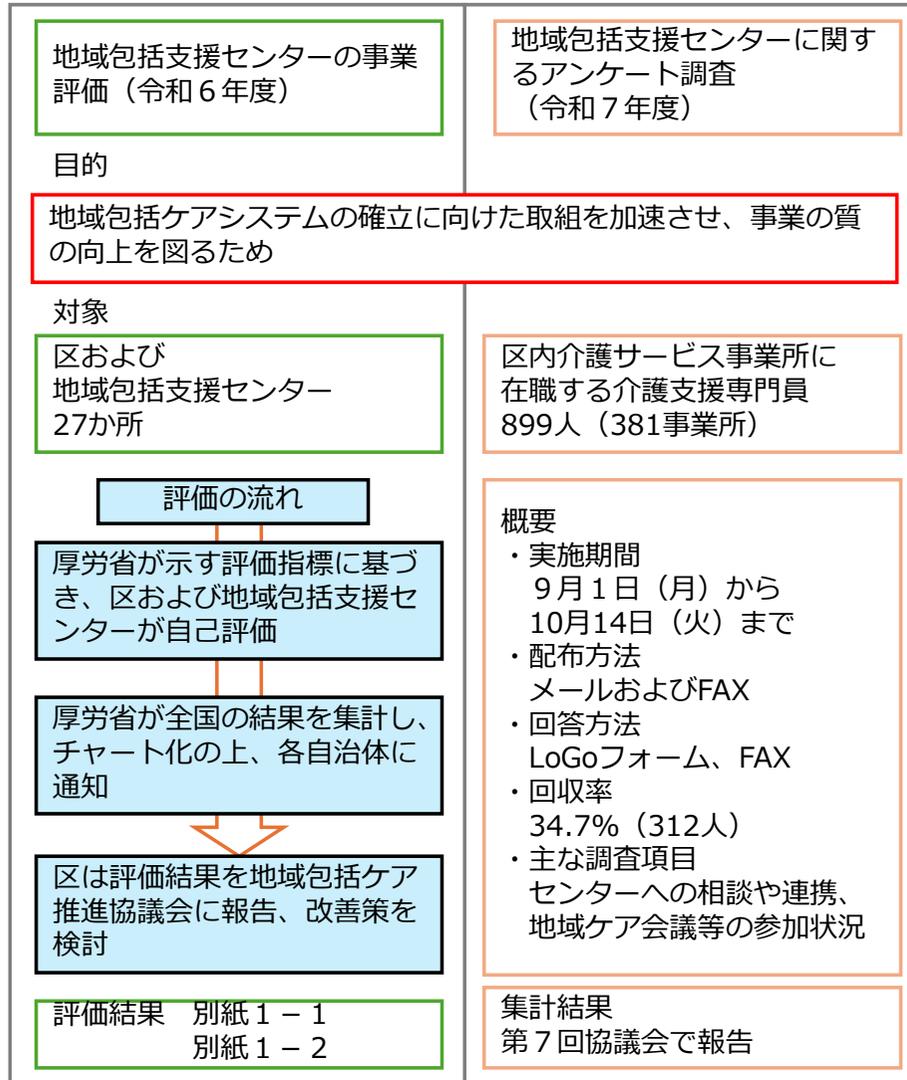


地域包括支援センターの事業評価について

地域包括ケア推進協議会において、毎年度以下の2種類について報告している。



事業評価およびアンケート結果を踏まえ、以下の取組を行う。

現状

【事業評価】

- 区指標分およびセンター指標分のいずれも、全国平均および東京都平均の評価を上回っている
- センター指標分において「ICTの活用等による業務の効率化」は44.4%である

【アンケート結果】

- 地域包括支援センターへの相談について、満足度が高い
- 権利擁護や個別相談対応の支援に対する要望が多い
- 実績報告等の書類について、IT化による業務の効率化が求められている
- 介護予防プランが増え、その事務負担の軽減を求められている

課題

- 地域包括支援センターにおいて、更にICTの活用等を進め、業務の効率化を図る必要がある
- ケアマネジャーからの複雑化、複合化する相談について、更なる対応が求められている

今後の取組

- オンライン申請等のDXを推進し、業務の効率化を図る
- 地域ケア会議を活用し、身寄りのない高齢者、8050問題や住まい等の課題に取組み、地域包括支援センター職員の対応力の向上を図る